

「スポーツ心理学研究」投稿の手引き

(2015.4.5 理事会改正)

1. 論文本体の原稿書式は、A4判縦置き横書きで882字詰を目安とする（42字×21行：本誌1頁1段の分量）。本誌に準拠した版組原稿書式も受け付ける。
2. 原稿分量は、刷り上がり10頁以内とする（編集規定9参照：超過分は投稿者負担とする。現在、1頁約1万円）。
3. 原稿（全種類）は、添付票、論文原稿（表紙、英文要約と和訳、論文本体）、倫理チェックリスト、および、英文抄録校閲証明書をそれぞれ1部提出する。
4. 添付票には、1) 論文種類、2) 題目（和英）、3) 欄外題目（和20字以内、英論文の場合は英40字以内）、4) 著者名（和英）、5) 所属機関名（和英）、6) 機関所在地（和英）、7) 連絡者名（E-mail）、8) 大学院在学状況、9) 学位（修士）取得年月日、10) 会員資格を記す。
5. 表紙には、1) 論文種類、2) 題目（和英）を記す。（第1頁）
6. 英文要約は、目的・方法・結果・結論を200語程度で簡明に記す。（英文和文各1頁）
 - 1) 題目に含まれない5項目程度のキーワードをつける。
 - 2) 題目、要約、キーワードについて英文校閲を受け、投稿時にその証明書（電子複写可）をつける（会社名、署名など）。学術用語については投稿者が責任を持つこととする。
7. 論文本体の構成は、原則として、序、方法、結果、考察、結論、文献、注・脚注、図表、写真とする。
8. 論文は常用漢字、現代かな表記とし、論理的で簡明な表現にする。句読点は「,」「.」とする。
9. 欧文表記は外国人名・地名に限り、カタカナ表記は十分日本語化したものに限る。
10. 数字は半角算用数字とし、計量単位は国際単位系（SI）に準拠する。
11. 統計記号（平均 M 、標準偏差 SD 、 p 値、 F 値、 t 値など）はイタリック体にて表記する。
12. 略語は一般用法に従い、必要に応じて初出時に説明する。
13. 図表・写真は1頁1枚とし、説明は表題下に記す。大きさは刷り上がり頁を考慮して作成する。挿入箇所は本文中に〈図1挿入〉、あるいは、欄外に図1などと記入する。
14. 注・脚注は、表題、所属機関の補足説明、謝辞、内容説明に限る。ただし、著者情報に関わるものは受理後印刷原稿に付加する。
15. 本文中の文献引用は、著者姓・出版年形式とする。文献表は著者姓のアルファベット順、出版年順に一括する。
16. 審査員が要修正事項や照会事項を指摘しやすくし、また著者が修正対応表（回答コメント）で修正・対応箇所を明示するために、本文および文献表の左側に行番号（ページごとに振り直し）を付加する。
17. その他の文献表記などの形式は、和文英文とも「体育学研究」に準ずる（<https://taiiku-gakkai.or.jp/> から「体育学研究」を参照）。ただし、英文雑誌名については略記せず完全誌名を表記する。
例：Yamamoto, Y., & Gohara, K. (2000) Continuous hitting movements modeled from the perspective of dynamical systems with temporal input. *Human Movement Science*, 19 (3) : 341-371.
18. 論文の作成にあたっては、「日本スポーツ心理学会倫理綱領」を遵守するとともに、所属機関等での倫理委員会の承認、協力者へのインフォームドコンセント、同意書の記載など、実際に配慮した点を論文中に明記する。
19. 投稿原稿（電子ファイル）は、編集委員長宛に電子メールで送付する。
20. 抜刷は、著者が印刷会社に発注する。

（補 足）

1. 原稿送付先（編集委員会）
E-mail：submit@jssp.jp
2. 電子ファイル形式
 - 1) ファイルの一括化と容量削減のため、「文字埋め込み」のPDF（拡張子：pdf）を原則とする。
 - 2) MS-Word (docx), MS-Excel (xlsx) など対応可能であるが、Excelは複数ワークシート利用など、ファイルをまとめる。
 - 3) いずれの場合も「読み取り専用」のオプションをつける（Windowsは「プロパティ」の「読み取り専用」をチェック）。
 - 4) 添付票と原稿の参考書式（MS-Word）は、学会ウェブページからダウンロードできる。
3. 郵送で受領証が必要な場合は、返信はがき（返信宛名、論文名を明記）を同封のこと。

（注：本規定は、第42巻第2号掲載論文より適用する）